

令和6年度 第6回頸城区地域協議会次第

日時：令和6年10月17日（木）
午後6時30分～
場所：頸城コミュニティプラザ
2階 203会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 自主的な審議

- (1) 頸城区における「地域活性化の方向性」について
・前回に引き続き意見交換
- (2) 頸城区地域協議会視察研修について

4 そ の 他

5 閉 会

第5回頸城区地域協議会 意見交換の結果

【グループ①メンバー】

上村会長、安樂委員、太田委員（欠席）、小川委員、西巻委員、橋本委員、渡辺委員

【委員から出された意見の概要】

- ・ 1つ目の課題は冬の魅力を活かす、2つ目が各団体との連携である。「冬の魅力を活かす」では、頸城区には冬に目玉となるようなイベントや事業等がないため、この冬をどう活かしていくか。
- ・ 外国人市民との関係では、冬に「さいの神」を南川地区の有志で行った時には、非常に盛況であった。
- ・ 各団体との連携では、冬のレールパークでコッペル号のライトアップに合わせて着物を着てはどうか。

【グループ②メンバー】

新保副会長、上村委員、滝本委員、竹田委員（欠席）、望月委員、船木委員、吉越委員

【委員から出された意見の概要】

- ・ 各団体との連携をどのようにするか、現在、実施している活動を、次の世代にどう渡していくか、どのようにこのまま続けていくか。頸城区地域協議会としてこの先どう役割を果たしていくのか。頸城区をマネジメントできる団体、かつ若い人たちが活動を育てていけるのか。
- ・ 若い人達がこの活動をどのように思っているのか、若い人にもっと参加してもらいたい。各団体の活動のイベント時には頸城区の住民が活動に参加してもらえるように、意見を聞いてもらえる環境を作っていきたい。
- ・ 今後の課題としては、若い人達と気軽な形で話ができるような場を設け、こちらから出向いて話が聞けるような活動ができればとよい。また、この活動を次の世代につなげていきたい。今、実施していることを大切にしていこうこと、頸城区の人達に頸城区のことを更に知ってもらうことが大事